

令和8年度予算編成を踏まえた 今後10年間の財政展望

令和8年2月

酒田市 総務部 財政課

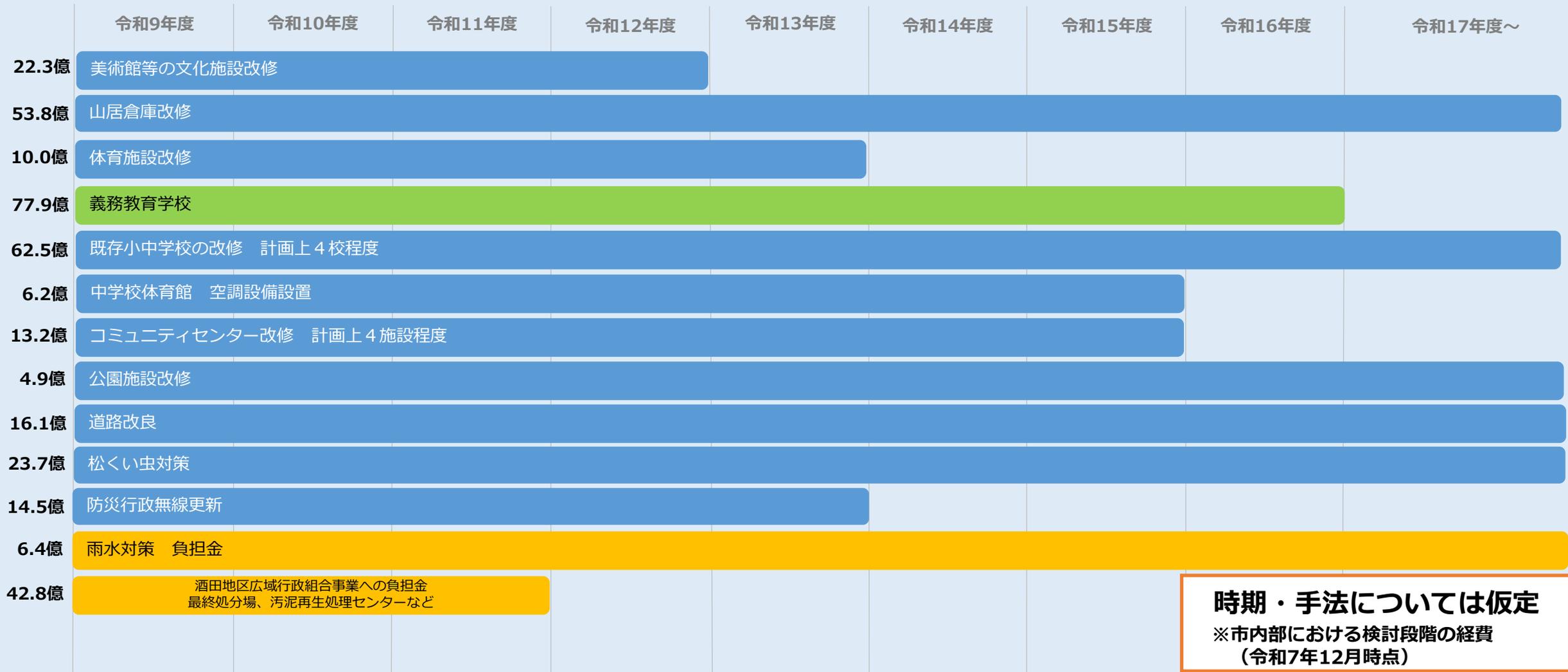
10年展望を作成した背景

- これまで、本市では今後の財政状況を明らかにし、財政運営を行っていくため、5年後までの「中期財政計画」（令和5年6月策定／計画期間：令和5年度－令和9年度までの5年間）を示してきた。
- 一方、令和6年7月の大雨災害、昨今の物価や人件費の高騰など、状況の目まぐるしい変化を勘案するとともに、毎年の決算の状況も踏まえ、適切に財政の将来展望を見通す必要がある。
- あわせて、今後10年間で想定される大規模事業を、仮定であるものの一定程度見込むことにより、将来負担を見据えた財政運営が行えるよう、試算を行った。
- 今後、この財政展望は、予算編成にあわせて毎年作成・公表することを予定している。

- ・一般会計を対象とする。
- ・令和7年度補正予算を踏まえた基金残高と令和8年度当初予算をベースに、後年度の歳入および歳出を試算した。
- ・令和5年度予算編成より実施している、市債発行上限額を5年間（令和5年度－令和9年度）で150億円とする取り組みは反映していない。
- ・想定される大規模事業については、一部は規模の想定が難しいため含んでいないものもあるが、可能な限り検討中のものは反映した（補助費となる酒田地区広域行政組合事業を含む）。【P4参照】
- ・今後の更なる物価高騰は不透明なため考慮していない（一定程度普通交付税で措置される）。
- ・各年度決算における繰越金を13億円（直近5年の最小値）と見込み、うち、10億円を財政調整基金へ積み立てることとして試算した。

想定される大規模事業等の予定一覧

既存施設の改修など
 新規整備
 負担金



時期・手法については仮定
 ※市内部における検討段階の経費
 (令和7年12月時点)

(参考) 今回事業費を盛り込んでいないが、今後具体的な検討が見込まれるハード事業

中心市街地開発 中町庁舎 健康センター ほか施設改修 等

（単位：百万円）

— 財政見通し —		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	
		当初予算額	当初予算額	試算額										
歳入	一般財源	36,725	35,349	35,665	35,453	35,640	35,452	35,695	37,620	37,512	36,399	36,760	35,951	
	うち市税	13,423	13,544	13,437	13,462	13,514	13,445	13,472	13,472	13,472	13,472	13,472	13,472	
	うち地方交付税	14,660	14,919	14,969	14,939	14,889	14,949	14,929	14,929	14,929	14,929	14,929	14,929	
	うち臨時財政対策債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特定財源	24,975	25,511	21,747	22,333	21,284	20,929	18,783	17,199	16,824	15,911	16,143	15,659	
	うち市債 （臨時財政対策債を除く）	4,009	5,155	4,539	5,078	4,545	4,239	2,750	2,779	2,926	1,928	2,160	1,775	
	うち災害復旧事業債	612	105											
	うち病院事業債（転貸債）	1,241	534	534	534	534	534	534	534	534	534	534	534	
	合計（A）	61,700	60,860	57,412	57,786	56,924	56,381	54,478	54,819	54,336	52,310	52,903	51,610	
	歳出	義務的経費	24,520	24,763	24,339	24,670	24,001	24,830	24,570	24,237	24,153	23,636	23,883	23,265
人件費		7,922	8,363	7,980	8,310	7,922	8,365	8,000	8,216	8,510	8,263	8,634	8,311	
うち退職手当		111	402	0	291	0	403	0	269	672	448	806	627	
扶助費		10,371	10,687	10,494	10,387	10,283	10,207	10,113	10,019	9,925	9,831	9,737	9,643	
公債費		6,227	5,713	5,865	5,973	5,796	6,258	6,457	6,002	5,718	5,542	5,512	5,311	
投資的経費		8,019	6,586	6,918	7,501	7,400	6,391	4,625	4,644	4,267	3,056	3,346	2,767	
その他		29,161	29,511	26,155	25,615	25,523	25,160	25,283	25,938	25,916	25,618	25,674	25,578	
合計（B）		61,700	60,860	57,412	57,786	56,924	56,381	54,478	54,819	54,336	52,310	52,903	51,610	
財源不足額（A - B）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
【参考】基金繰入金額	3,514	3,475	2,763	2,674	2,623	2,344	2,519	1,960	3,006	1,928	2,317	1,531		
【参考】主要基金繰入額	3,300	3,064	2,610	2,380	2,521	2,329	2,509	1,950	2,996	1,918	2,307	1,521		
年度末市債残高	44,633	45,084	44,595	44,607	44,337	43,360	40,727	38,660	37,050	34,760	32,840	30,780		

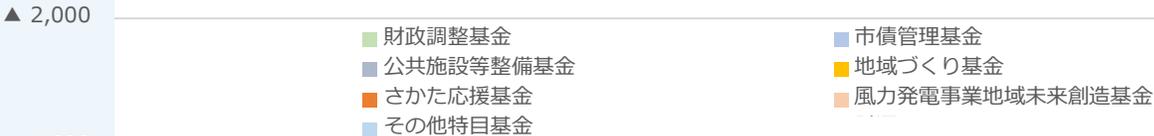
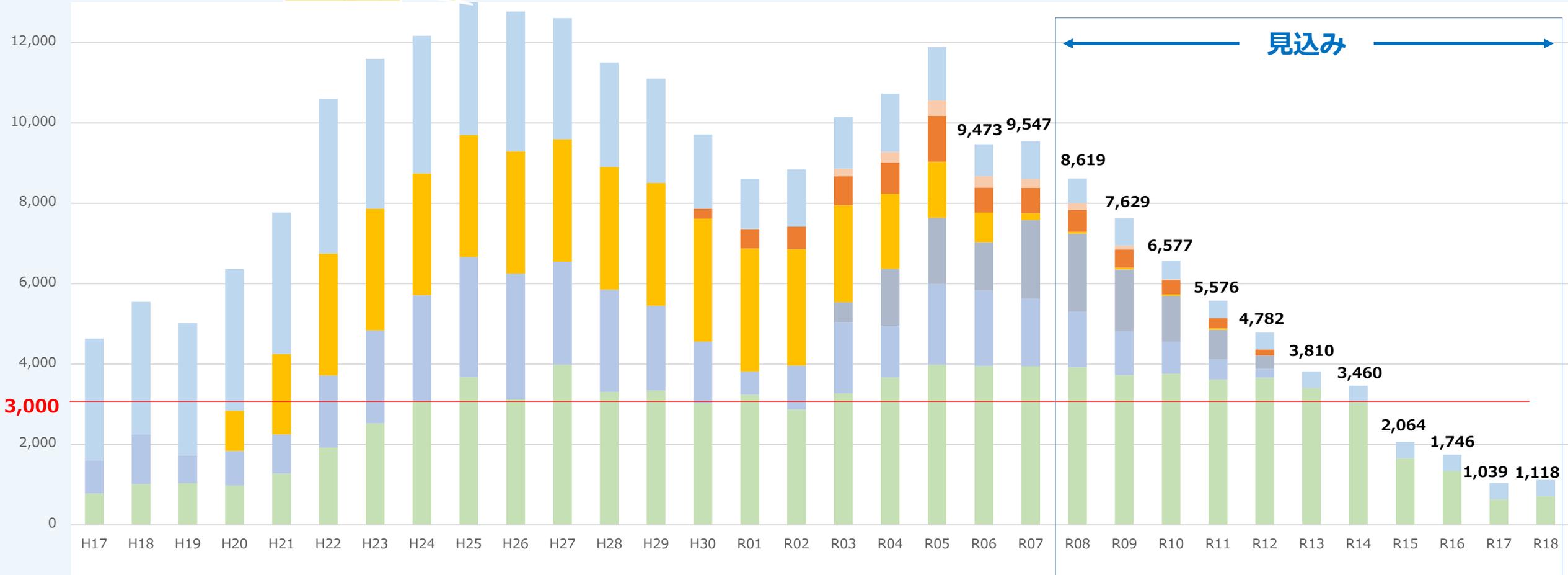
本市では、災害等緊急時のため、財政調整基金の残高を30億円以上確保することとしているが、R15以降は基金全体としても下回ってしまう。

(単位：百万円)

過去最大

13,769

見込み



基金とは・・・ 特定の目的のために積み立てられた市の貯金。財産の維持、資金の積立のために設置される積立基金と、特定の目的事業のための資金の貸付け、財産等の一時取得などを実施するために設置される運用基金がある。
上記基金残高は、積立基金の合計額。

【財政状況、財政展望の評価】

- ・歳出抑制、特に投資的事業の平準化と抑制に取り組んできたことで、公債費が大幅に抑制されてきた。
- ・反面、基金繰り入れが相当程度（年間20億円から30億円）見込まれ、基金全体の残高は徐々に減少していくと見込まれる。

今後の財政運営の方針 ～健全な財政を築くために～

- ・直近の決算による基金の動向に加えて中長期的な投資的事業の見通しを踏まえて、**基金残高を適切にコントロール**しながら財政運営（予算編成）を行っていくとともに、歳出削減にもしっかり取り組んでいく。その中でも、

◆プロジェクト30-30の方針の継続

- ・長期的な視点と優先順位を踏まえた投資的事業の実施による「市債残高」と「公債費」のコントロール
- ・決算の状況も踏まえた**基金残高のコントロール**

◆公共施設適正化の着実な実施

- ・客観的評価に基づいた**複合化・統廃合の一層の加速**
この2つが最も重要である。

プロジェクト30-30とは・・・

①財政調整基金の残高を30億円以上を確保する

②市債発行上限額を5年間で150億円（30億円/年）とする

この2つを柱とした令和5年度予算編成より実施している財政健全化に向けた取り組み

今後の財政運営の方向性 ～守り、攻める～

- ・健全財政を築くことで、市民サービス（子育て、教育、地域福祉）の維持・充実を図ることにより、豊かに安心して暮らせるまちを目指していきます。
- ・加えて、産業振興はもとより関係人口を活かした定住人口増、インバウンドを含む観光誘客拡大、中心市街地整備など将来的に税収増となる「攻め」の施策にも取り組むことにより市の発展を目指していきます。